

2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 ゼロ 代表者名 代表取締役社長 髙橋 俊博 (コード番号:9028、東証スタンダード) 問合せ先 グループ戦略本部経営企画部長 伊達 貴司 (TEL. 044-520-0106)

# 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024 年8月8日に公表いたしました 2025 年6月期通期連結業績予想及び期末配当 予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

# 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2024年7月1日~2025年6月30日)

|                      | 売上収益           | 営業利益         | 税引前利益        | 親会社株主に帰<br>属する当期利益 | 基本的1株当た<br>り 当 期 利 益 |
|----------------------|----------------|--------------|--------------|--------------------|----------------------|
| 前回発表予想(A)            | 百万円<br>135,000 | 百万円<br>8,100 | 百万円<br>8,100 | 百万円<br>5,500       | 円 銭<br>325.46        |
| 今回修正予想(B)            | 145,000        | 10,200       | 10,200       | 7,100              | 419.32               |
| 増 減 額(B-A)           | 10,000         | 2,100        | 2,100        | 1,600              | _                    |
| 増 減 率( % )           | 7.4            | 25.9         | 25.9         | 29.1               | _                    |
| (参考)前期連結実績(2024年6月期) | 140,751        | 6,222        | 6,227        | 4,150              | 245.61               |

#### (修正の理由)

本日公表の「2025 年6月期第3四半期決算短信[IFRS]」に記載の連結業績は、前年同期比で、売上収益、各利益について増収・増益となりました。

通期連結業績予想につきましては、主に国内自動車関連事業セグメントにおいて、粗利益を重視した営業活動の実行や、既存及び新たに連結化した子会社業績が寄与していることなどから、増収・増益となる見通しであります。 以上のことから、通期連結業績予想の見直しを上記のとおり修正いたします。

## 2. 期末配当予想の修正について

### (1) 期末配当予想の修正内容

|                       | 年間配当金      |           |            |  |
|-----------------------|------------|-----------|------------|--|
|                       | 第2四半期末(中間) | 期末        | 年間         |  |
| 前回予想                  | _          | 64 円 40 銭 | 107円 40銭   |  |
| 今回修正予想                | _          | 95 円 40 銭 | 138 円 40 銭 |  |
| 今 期 実 績               | 43 円 00 銭  | _         | _          |  |
| 前 期 実 績<br>(2024年6月期) | 15 円 00 銭  | 46 円 40 銭 | 61 円 40 銭  |  |

### (2)期末配当予想の修正の理由

今回の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当社の利益配分の方針に従い、年間配当金の予想を基本的1 株当たり当期利益に33%を乗じた138円40銭に変更いたします。この修正に伴い、期末配当金の予想につき ましては、従来予想の1株当たり64円40銭を、95円40銭に修正いたします。

なお、当社の年間の利益配分の基本方針は下記のとおりであります。

第 79 期(2025 年6月期)以降の配当につきましては、株主還元の一層の充実を念頭に、配当性向を 33%としております。親会社所有者に帰属する当期利益を「株主還元」「成長投資」「財務安定化」に三分割してバランスを取っていく方針であります。中間配当につきましては年間配当の4割を基本として おります。

以上